

令和4年10月利府町教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 令和4年10月26日(水)
午後1時00分から午後2時00分まで
- 2 開催場所 利府町役場 第1会議室
- 3 出席委員 本 明 陽 一 教育長
石 川 一 美 委員(教育長職務代行)
高 田 修 委員
高 橋 百合子 委員
- 4 欠席委員 村 松 淳 司 委員
- 5 説明のため出席した者 教育部長 菊 池 信 行
教育総務課長 大 谷 浩 貴
生涯学習課長 鎌 田 輝 久
学校給食センター所長 佐 藤 幸 子
教育総務係長 加 藤 典 子
- 6 傍聴者 なし
- 7 令和4年9月定例会会議録の承認
特に意見なく承認。
- 8 本定例会会議録署名委員の指名
石川一美委員と高橋百合子委員を指名。
- 9 一般事務事業報告及び事業計画
(説明者：菊池教育部長)
一般事務事業報告及び事業計画について説明。
特に意見なく承認。
- 10 協議事項
(1) スポーツ関連施設等の管理運営について
(説明者：鎌田生涯学習課長)
利府町体育施設等の利用状況につきましては記載のとおりとなっております。

りますが、総合体育館のメインアリーナと屋内温水プールの7月期は復旧工事中により利用者がなしとなっております。その他の施設につきましては、前年同期と比べて増加しております。特に総合体育館のサブアリーナが増えておりますが、こちらはメインアリーナが使えなかった影響が考えられます。中央公園野球場も増えておりますが、去年は開催できなかった楽天の二軍戦を土日に2日間実施しております。その為、野球場の利用者が増加していると分析します。その他施設も増加傾向にあります。今年に入り自粛ムードが和らいだ影響であると考えられます。

自主事業のフィットネスに関しましては、指定管理者が新聞折り込み等でPRした結果が利用増加につながったと考えます。

その他の体育施設に関しましては、休館中の為セントラルスポーツの収支にも影響が出ており、補填してほしい部分を協議してまいりました。結論として休館中の経費の補填は求めないということで、10月20日にセントラルスポーツ側より意思示されておりますので、赤字補填は考えておりません。

(質疑)

高田委員

休館になった理由はなんですか。

鎌田生涯学習課長

3月の地震の復旧工事で、屋内温水プールは7月まで利用できず、総合体育館のメインアリーナは現在も工事中の為11月22日までの工期で復旧に努めております。

高田委員

利用者がいない時には補填するような契約なのでしょうか。

鎌田生涯学習課長

協議のうえ、補填する内容を決めていく形となっております。

高田委員

はい、わかりました。

(2) 文化交流センター（リフノス）の管理運営について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

第2四半期が終了している為、3ヶ月分の概要をまとめております。まず、利用状況ですが来場者数は62,789人。図書の貸出数については、78,334冊となっております。このペースでいくと年間目標の利用者数・貸出数を大きく上回る見通しであります。

主な図書館業務・公民館業務につきましては、内容は記載のとおりと

なっております。公民館事業で、リフノス開館一周年記念事業として「花乱舞」と題したイベントを実施しました。内容は和太鼓演奏と神楽舞であり、チケット販売したところ完売し大盛況でした。図書館事業では、理科読連携事業としまして、科学実験と自然科学図書の読み聞かせを行いました。講師をお願いしました NPO 法人ガリレオ工房と利府高校の図書委員会・自然科学部がコラボし、空気鉄砲を作ったり、化学に関する読み聞かせを行うなど珍しい事業に取り組んでいただきました。

(質疑) なし

1 1 報告事項

(1) いじめ・不登校の上半期の状況について

(1) いじめ・不登校の上半期の状況については、個人情報が含まれるので秘密会とする。

(2) 利府町子どもの心のケアハウス「十符ルーム」の上半期活動状況について

(2) 利府町子どもの心のケアハウス「十符ルーム」の上半期活動状況については、個人情報が含まれるので秘密会とする。

(3) 第4次利府町子ども読書活動推進計画のパブリックコメントの実施について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

スケジュールの記載がありますが、9月20日までの間に計画の策定委員会を4回開きまして、素案という形でまとまっております。素案をパブリックコメントにかけていきたいということで、12月12日から1月20日までの期間で考えております。最終的にはパブリックコメントでいただいたご意見を反映させたいと、2月の定例教育委員会にて承認いただければと考えております。

素案の4ページで第4次計画の目標を3つ掲げております。本を読まない子どもを減らす、学校図書館の利用冊数を増やすというところは令和元年度に宮城県が作成した子ども読書活動計画と連動し、目標設定をしております。利府町としては町の図書館を利用する子どもの数を増やすというところで特色を入れました。

具体的には8ページの家庭及び幼稚園・保育所等における子どもの読書活動の推進の取組の内容としまして、絵本と出会うきっかけづくりでは、ブックスタートと呼ばれる手法を検討していくということで、早け

れば来年度に絵本を渡したり、読み聞かせをしたりと活動を展開していければと考えております。

読み聞かせ用ブックリストの配布につきましても町図書館でやっていただく計画となっております。

10～11 ページの町図書館、子育て広場における読書活動の推進の取組目標につきましても、各種イベントを継続して開催していくことや図書館司書体験ができるような活動をしていくことや図書館側が児童館等へ出向き図書館事業を展開していくことで、利府町らしさとして盛り込んでおります。

パブリックコメントを実施する場合には、町部局、教育委員会部局、議会部局へ報告したうえでパブリックコメントを実施するという報告となります。

(質疑)

石川委員

4 ページ数値目標 3 の町の図書館を利用する子どもの数を増やすとの数値目標は厳しいのではないかと。

鎌田生涯学習課長

素案を作成するにあたってアンケートデータを基に設定しております。決して過大な目標設定はしておりません。

石川委員

累計と新規利用者数を分ければいいのではないかと。

高田委員

調べ方としては学校にアンケート調査をしてリフノスに行ったかどうかを集計するのですか。

鎌田生涯学習課長

はい、そうです。

高田委員

そうすると、利府小学校の子どもで数を増やすことになってしまうのではないかと。

本明教育長

疑問点に答えられるように確認をお願いします。

鎌田生涯学習課長

はい。

高田委員

ブックスタートがやっと始まるということで、赤ちゃんの本が中心になるかと思えます。絵本のしくみや発達年齢と絵本の関係等を理解したうえで渡した方がよいと思えますのでお話しして頂ければと思います。

鎌田生涯学習課長

具体的に進めるにあたりまして、生後6か月ぐらいからの丁度いい絵本を選んでいただいて。

高田委員

生後4～5か月ぐらいから見るので、6か月ではなく早ければ早いほどいいかと思います。スマホ世代で絵本離れが進んでいる中でブックスタートで引き戻すのは、大変な作業であります。絵本を読み聞かせする意義を親が理解する事は必要なので、説明しながらブックスタートをするべきだと考えます。

本明教育長

教育委員会事業と離れる部分となりますので、ご意見については担当課へ情報の共有をお願いします。

(4) 新型コロナウイルス感染状況について

本明教育長

(4) 新型コロナウイルス感染状況については、個人情報が含まれるので秘密会とする。

(5) 各小・中学校の状況について

本明教育長

(5) 各小中学校の状況については、個人情報が含まれるので秘密会とする。

12 事務局からの連絡事項

(1) 令和4年11月定例会の開催について

次回開催予定日は、令和4年11月30日水曜日となります。

13 閉会